

大山 (だいせん)

M・S

日時：2018年10月18日(木) 曇り一時雨

コース：大山夏道登山口 7:55-六合目避難小屋 9:35-弥山(頂上) 10:52/11:25

六合目避難小屋：12:38-行者谷分かれ 12:53-元谷の河原 13:25-

行者登山口 13:54

参加者：M・T M・S

10月17日新宿バスタ 19:40 発の夜行バスに乘車、翌18日鳥取駅に6:35着。タクシーで今夜の宿の大山コテージに行き、荷物を預けて出発。



標高 1100mを越える頃には紅葉も濃くなった。

五合目に山ノ神さんが祀ってあった。



行者谷分かれ。

復路はここから行者登山道を歩く。

六合目避難小屋。霧がかかってはいたが、北壁の紅葉が見られた。





日本海が望まれた。
残念ながら霧でぼんやりとだった。



裸地化した頂上を木道で周回するようにし、植生保護をすすめて今ではダイセンキャラボクの純林などで見事に緑が復活していた。

↓ダイセンキャラボクの赤い実と
サワフタギの青い実



霧が濃くて頂上からは遠望出来ず。頂上避難小屋は大きかった。
下るにつれだんだん晴れて海岸線が見えてきた。
広がる草もみじとダイセンキャラボクの間続く木道を下った。





虹がかかって！
北壁の崩れは止まず、弥山～剣が峰～象の鼻
は通行不能



行者谷分かれから行者登山道を歩いて間もなく、
雷雨となり雨具を着けた。木道は滑りやすかった。



元谷の河原に出る頃には雨が止んだ。
北壁と黄葉と大堰堤の素晴らしい景色に大満足。



行者登山口に着いてから大神山神社奥宮、大山寺と巡って宿に戻った。

